

令和4年6月6日

神奈川県知事

黒岩 祐治 殿

一般社団法人神奈川県トラック協会

会長 吉田 修一

**燃料価格高騰により危機に瀕するトラック運送業界への支援
について（要望）**

平素は、トラック運送業界に対しまして格別なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私どもトラック運送事業者は、物流サプライチェーンの一翼を担い、国民生活や企業活動にとって不可欠な社会インフラとしての自覚のもと、「暮らしを守る、という覚悟」をもって日夜懸命に生活物資等の輸送に努めております。また、県や市町村の要請の下、近年多発する大規模自然災害等による被災住民への緊急物資輸送に対応し、トラック運送事業の重要性が特段に認知されてきておるところであります。

しかしながら、当業界は、中小零細事業者が大半を占め、新型コロナウイルス感染症の影響による物量の減少により厳しい経営環境が続いているところ、昨今の産油国からの原油供給不足やロシアのウクライナ侵攻等の影響により原油価格が高騰し、トラックの燃料である軽油価格も高止まりした状態が長期化しつつあり、輸送コストに占める燃料価格の割合が高い業界にとって、これによるコスト増は最早各事業者の努力では吸収は困難で、事業の継続が危うい状況になってきております。このままでは社会的に必要な輸送力の持続的な維持は望めません。

政府においては、燃料価格上昇の抑制策として元売りへの助成が行われておりますが、価格の高止まりが改善されてはおりません。一方、当協会では燃料価格高騰分の運賃への転嫁について、関係官庁とも連携して荷主や荷主団体に要望活動を展開しておりますが、実現の見通しは困難な状況にあります。

つきましては、今後、トラック運送業界が引き続き県民の暮らしと企業活動を支えるライフラインとして存続するため下記の通り要望いたしますので、事情ご賢察の上、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

（要望事項）

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、燃料価格高騰により事業の運営に支障が生じているトラック運送事業者の事業維持・継続のための支援策の実施。